



BAR 5.1 SURROUND



取扱説明書

重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

JBL LINK Bar 5.1 Surround (サウンドバーおよびサブウーファー) は100~240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品向け以外の電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、壁のコンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、本機に付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は、認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えします。

AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用するつもりがない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はございません。本体を開けると感電する可能性があり、製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

目次

重要な安全上の注意	2	7. サウンドの設定	13
1. はじめに	4	8. 工場出荷時の設定への復元	14
2. 同梱品	4	9. ソフトウェアのアップデート	14
3. 製品の概要	5	10. サブウーファースの再接続	15
3.1 サウンドバー	5	11. 製品の仕様	15
3.2 サブウーファー	6	12. トラブルシューティング	16
3.3 リモコン	6	13. 商標	17
4. 設置	7	14. オープンソースのライセンスに関する注意	18
4.1 台への設置	7		
4.2 壁への取り付け	7		
5. 接続	8		
5.1 TVへの接続	8		
5.2 デジタルデバイスへの接続	8		
5.3 ホームネットワークとの接続	8		
5.4 BLUETOOTH接続	9		
6. 再生	10		
6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ	10		
6.2 初期設定	11		
6.3 TVソースからの再生	11		
6.4 HDMI IN入力からの再生	12		
6.5 BLUETOOTHソースからの再生	12		
6.6 CHROMECASTを使って再生する	12		
6.7 AIRPLAYを使って再生する	12		

1. はじめに

JBL 5.1 Surround (サウンドバーおよびサブウーファー)をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、ずば抜けたサウンドを生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムです。少々お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。この取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

本製品では重要なソフトウェアアップデートがご利用いただけます。本製品をインターネットに接続するには指示に従い、確実に製品の最新のソフトウェアアップデートを行ってください。

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。サウンドバーと設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comをご覧ください。

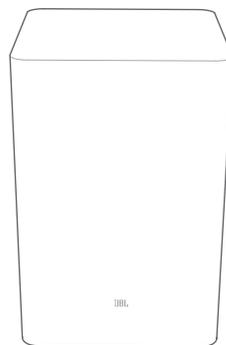
2. 同梱品

注意して箱を開封し、以下の部品が同梱されていることをお確かめください。いずれかの部品が破損している、または見当たらない場合は、小売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

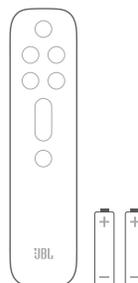
サウンドバー



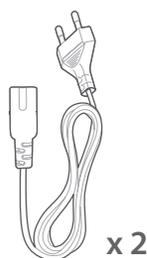
サブウーファー



リモコン(単4乾電池2本付属)



電源コード*

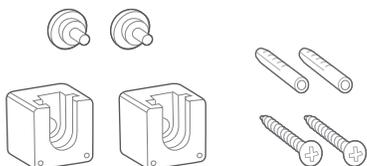


*電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

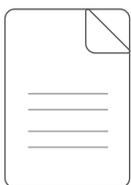
HDMIケーブル



壁取り付け用キット



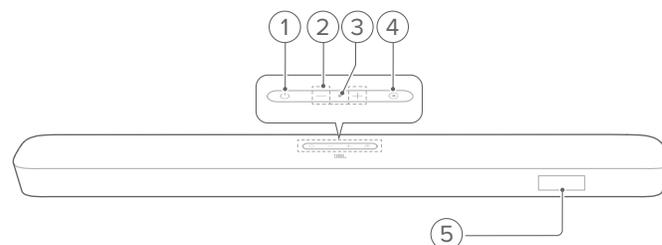
製品情報&壁取り付け用型紙



3. 製品の概要

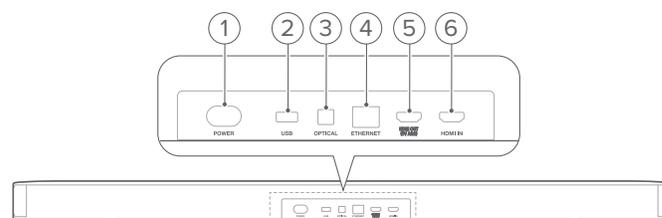
3.1 サウンドバー

コントロール



- 1) **⏻ (電源)**
 - 電源をオンまたはスタンバイ状態にする
- 2) **+/- (ボリューム)**
 - 音量の増減
 - 押し続けると音量が連続的に増減します。
 - 両方の音量ボタンを同時に押すと、スピーカーをミュートするか、またはミュート状態を解除します。
- 3) **マイク**
 - オーディオ調整用 (自動マルチビーム測定 (AMC))
- 4) **Ⓞ (入力切換)**
 - 入力ソースを選択してください: TV (デフォルト、TVに接続する場合は**HDMI OUT (TV ARC)**接続が**OPTICAL**接続より優先)、BluetoothまたはHDMI IN
- 5) **ステータス表示**

背面端子



- 1) **POWER**
 - 電源に接続します (付属の電源コードを使う)
- 2) **USB**
 - ソフトウェアアップデート用USBコネクタ
 - 日本バージョンではUSBストレージからMP3ファイルを再生することはできません
- 3) **OPTICAL**
 - TVまたはデジタルデバイスの光デジタル出力に接続します

4) ETHERNET

- Ethernetケーブルを通してホームネットワークに接続します

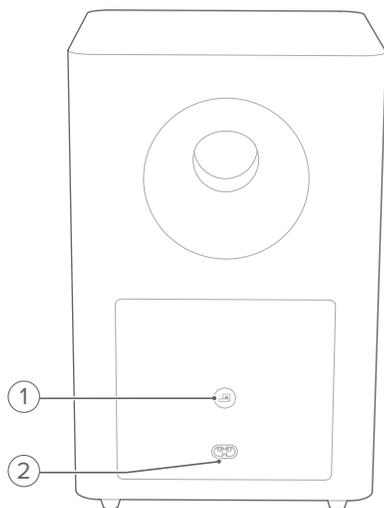
5) HDMI OUT (TV ARC)

- TVのHDMI ARC入力に接続します

6) HDMI IN

- デジタルデバイスのHDMI出力に接続します

3.2 サブウーファー



1)

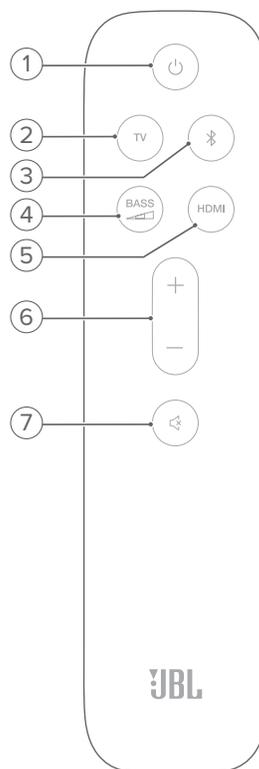
- 接続状態のインジケータ

○	白く点灯	サウンドバーに接続済み
◐	白で素早く点滅	ペアリングモード
◑	白でゆっくり点滅	再接続中、または現在のペアリングモードを終了
●	赤で点灯	スタンバイモード

2) POWER

- 電源に接続します (付属の電源コードを使う)

3.3 リモコン



1)

- 電源をオンまたはスタンバイ状態にする

2) TV

- TVを入力ソースとして選択します (TVに接続する場合は **HDMI OUT (TV ARC)**接続が**OPTICAL**接続より優先)

3) (Bluetooth)

- Bluetoothソースを選択します
- 長押しすると、別のBluetooth対応デバイスと接続ができます

4)

- サブウーファー用の低音レベルを選択します: 低、中 (デフォルト)、高

5) HDMI

- **HDMI IN**を選択します

6) +/-

- 音量を増減します
- 押し続けると、連続的に増減します。

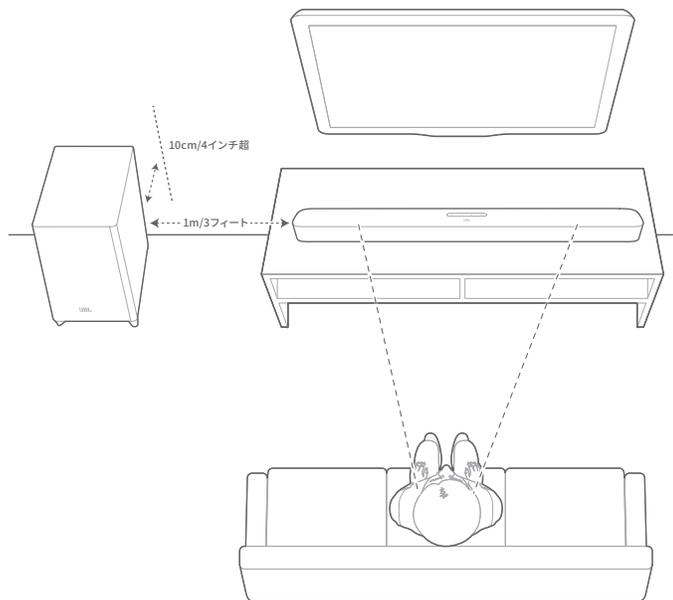
7) (ミュート)

- ミュート/ミュート解除

4. 設置

4.1 台への設置

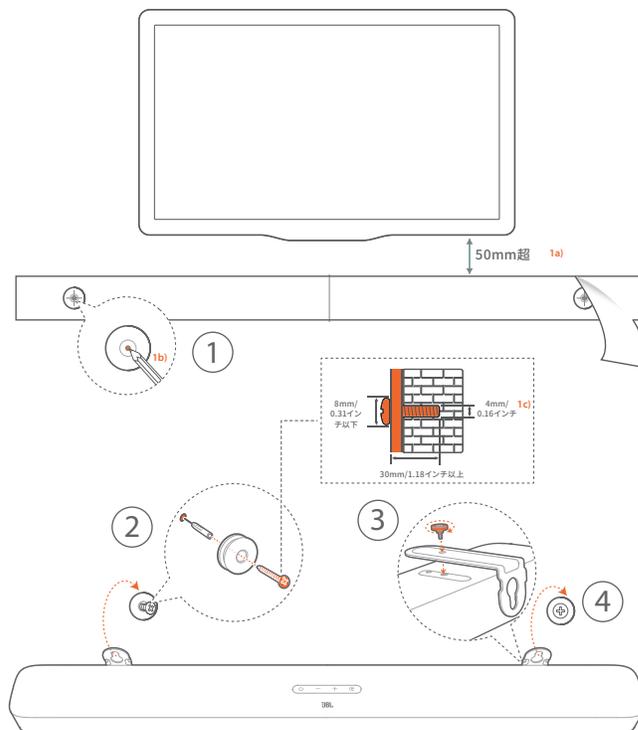
水平で安定した台の上にサウンドバーとサブウーファーを設置してください。サブウーファーがサウンドバーから最低1m、壁から10cm離れていることをご確認ください。



注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバー、またはサブウーファーの上には何も置かないでください。
- サブウーファーとサウンドバー間の距離が6m以内であることをご確認ください。

4.2 壁への取り付け



1. 準備:

- TVから最低50mm離して、セロハンテープで付属の壁取り付け用型紙を貼り付けてください。
- ボールペンでねじ穴の位置に印を付けてください。型紙を取り外します。
- 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。

2. 壁取り付け用金具の受けねじを取り付けます。

3. ねじでサウンドバーの底部に金具を固定します。

4. サウンドバーを取り付けます。

注:

- 壁がサウンドバーの重量に耐えられることをご確認ください。
- 垂直の壁以外には取り付けないでください。
- 高温、または高湿度状態での設置はおやめください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーと外部デバイス間のケーブルが全て正しく接続されていることをご確認ください。
- 壁への取り付け前に、サウンドバーの電源が入っていないことをご確認ください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

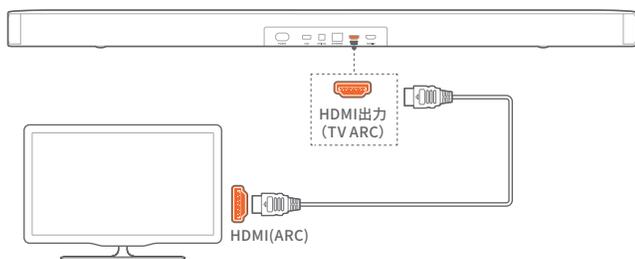
5. 接続

5.1 TVへの接続

付属のHDMIケーブル、または光デジタル端子ケーブル（別売）を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

付属のHDMIケーブルを使う

HDMI接続は、ケーブル1本の接続によりオーディオとビデオ両方を出力できます。HDMIに対応しているTVの場合は、この接続方法を推奨します。

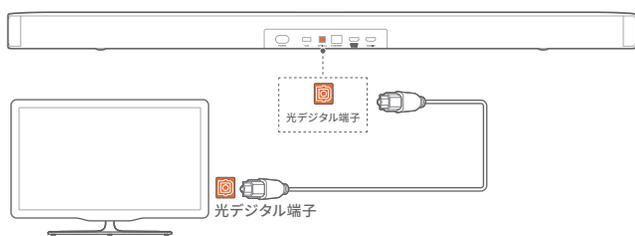


1. 付属のHDMIケーブルを使って、サウンドバーをTVに接続してください。
2. TVがHDMI-CECとHDMI ARCに対応しているかどうかをチェックしてください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。

注:

- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。
- TVのHDMI-CEC対応に問題がある場合は、TVのメーカーにご連絡ください。

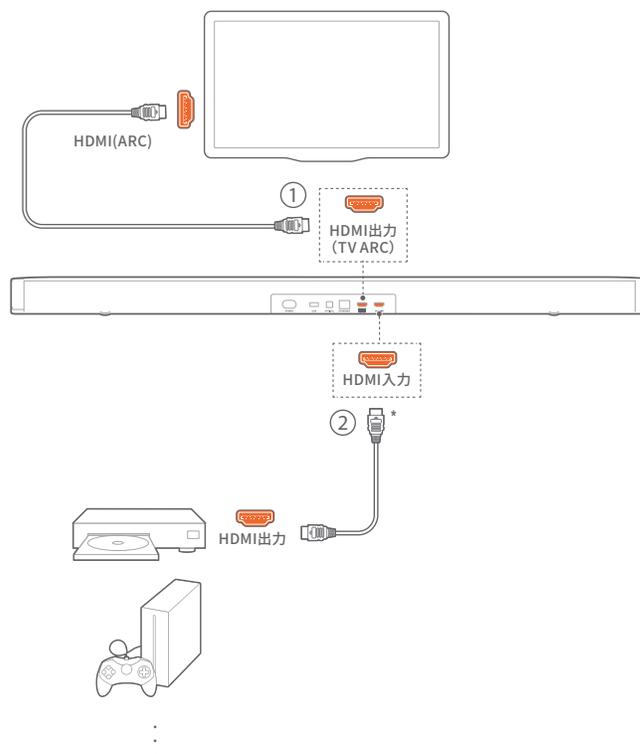
光デジタル端子ケーブルを使う



- 光デジタル端子ケーブル（別売）を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

5.2 デジタルデバイスへの接続

1. HDMI ARC接続でTVにサウンドバーが接続されていることをご確認ください（「接続」の章の「TVへの接続」の下にある「付属のHDMIケーブルを使う」をお読みください）
2. HDMIケーブル（V2.0以降）1本で、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはゲーム機などのデジタルデバイスとサウンドバーを接続してください。
3. デジタルデバイスがHDMI-CECに対応していることを確認してください。詳細についてはデジタルデバイスの取扱説明書をご参照ください。



注:

- *HDMIケーブルは別売りです。
- デジタルデバイスのHDMI-CEC対応に問題がある場合は、デバイスのメーカーにお問い合わせください。
- HDMI ARCと光デジタル端子のどちらでもサウンドバーに接続できる場合は、HDMI ARC接続の出力が優先されます。

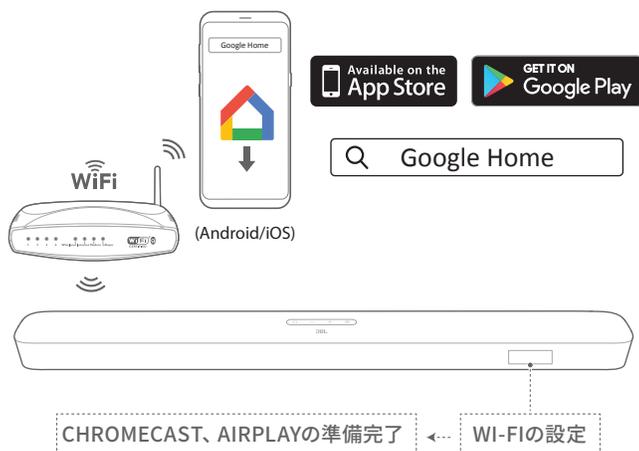
5.3 ホームネットワークとの接続

Wi-Fi、またはEthernetケーブルを通してサウンドバーをホームネットワークに接続してください。Chromecast built-inとAirplayに対応しているので、本製品はサウンドバースピーカーを通して、スマートフォンまたはタブレットからオーディオをストリーミングすることが可能です。

1. サウンドバーでWi-Fi設定モードに入ってください：
 - 電源ボタンを押して電源を入れます（「再生」の章の「電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」をお読みください）。
→ サウンドバーがネットワークに接続されていない場合は、画面に「HELLO」、次に「SETUP WIFI」と表示されます。
 - 再度Wi-Fi設定モードに入るには、「RESET WIFI」と表示されるまで電源ボタンを長押ししてください。
2. AndroidまたはiOSデバイスで、サウンドバーをホームWi-Fiネットワークに追加してください。

Google Homeアプリを使う

- a) AndroidまたはiOSデバイスをホームWi-Fiネットワークに接続してください。Google Homeアプリをダウンロードします。お持ちのGoogleアカウントでサインインします。アカウントをお持ちでない場合は、新規でアカウントを作成します。
- b) アプリの指示に従って設定を完了してください。



*Airplayのスピーカー設定を使う

- iOSデバイスをホームWi-Fiネットワークに接続してください。
- iOSデバイスで、**設定**>**Wi-Fi**へ進んでください。**新しいAIRPLAYスピーカーの設定**の下の「**JBL Bar 5.1_xxxx**」を選択して画面上の指示に従い、設定を完了してください。



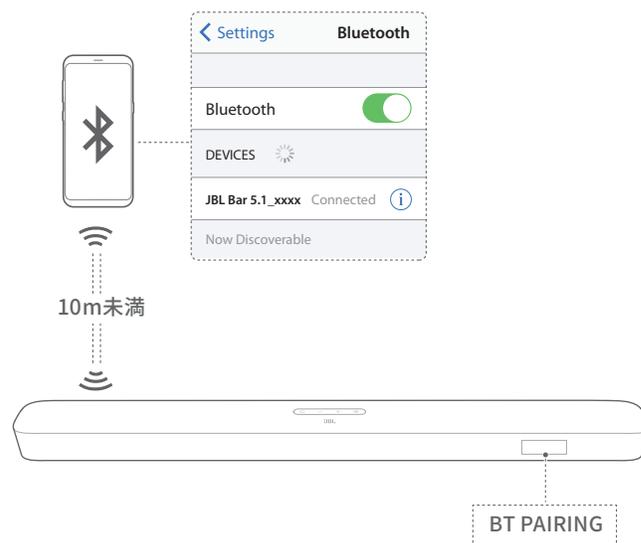
- 必要があれば、Ethernetケーブルを使用してサウンドバーをホームネットワークに接続してください。
 - 設定時と同一のネットワークに接続されていることをご確認ください。

注:

- Google Homeアプリを使つてのWi-Fiの設定中に、サウンドバーに名前を付けてルームで整理することができます。
- iOSデバイスで、Apple Homeアプリにサウンドバーを追加し、その他のAirPlay 2対応スピーカーと一緒に管理することができます。
- *iOSデバイス上で、Google Homeアプリを通してサウンドバーがホームWi-Fiネットワークに追加されている場合、「Airplayのスピーカー設定を使う」の下のステップを飛ばしてAirplay対応アプリからAirplayのストリーミングを開始することができます（「再生」の章の「Airplayを使って再生する」をお読みください）。

5.4 Bluetooth接続

Bluetoothを通して、スマートフォン、タブレット、ノートパソコンといったBluetooth対応デバイスにサウンドバーを接続してください。



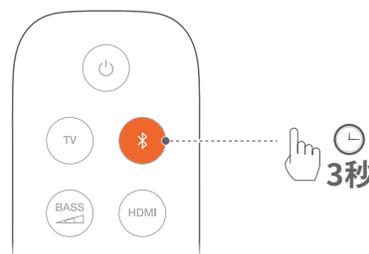
Bluetooth対応デバイスへの接続手順

- 電源ボタンを押して電源を入れてください（「再生」の章の「電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」をお読みください）。
- Bluetooth入力を選択するには、サウンドバーの **BT**、またはリモコンの **Bluetooth** ボタンを押してください。
 - 「**BT PAIRING**」: BTペアリングの準備完了
- Bluetooth対応デバイスでは、Bluetoothを有効にすると3分以内に「**JBL Bar 5.1_xxxx**」を検索します。
 - **接続に成功しました**: デバイスの名称が英語の場合は、英語で表示されます。確認音が鳴ります。

以前ペアリングしたデバイスを再接続するには:

本機はスタンバイモード時に、接続したBluetooth対応デバイスを保存しています。次の機会にBluetoothソースに切り替えた際、自動的に最後に接続したデバイスとの再接続を行います。

別のBluetooth対応デバイスに接続するには



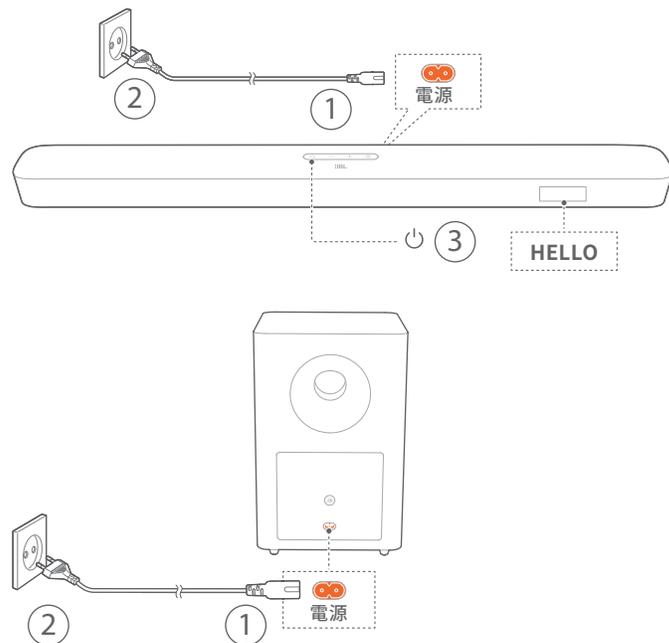
- Bluetooth入力で「BT PAIRING」が表示されるまで、サウンドバーの **C**、またはリモコンの **ⓧ** ボタンを長押ししてください。
 - 以前に接続していたデバイスはサウンドバーから消去されます。
 - サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。
- 「Bluetooth対応デバイスへの接続手順」のステップ3に従ってください。
 - 他のデバイスがサウンドバーとペアリングされている場合は、まずデバイス上の「JBL Bar 5.1_xxxx」のペアリングを解除してください。

注:

- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えている場合、接続が切れてしまいます。
- 電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLANデバイスなどの電磁波を出す機器はサウンドバーから離してお使いください。

6. 再生

6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



電源オン

- 付属の電源コードで、サウンドバーとサブウーファーを電源に接続してください。
 - サウンドバーの画面に「LOAD」そして「READY」と表示されません。
- サウンドバー上で **ⓧ** ボタンを押して電源を入れてください。
 - 「HELLO」と表示されます。
 - サブウーファーがサウンドバーに自動的に接続されます。
接続済み: 白で点灯します。

注:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- 電源に接続する前に、電源コードがサウンドバーとサブウーファーに正しく差し込まれていることをご確認ください。
- サウンドバーの電源を入れる前に、他の接続（「接続」の章の「TVへの接続」と「デジタルデバイスへの接続」をお読みください）が全て完了していることをご確認ください。

オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。「STDBY」と表示されます。サブウーファーもスタンバイモードに入ると、 が赤で点灯します。次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

オートウェイクアップ

サウンドバーは下記の動作によって自動的にスタンバイモードから復帰します。

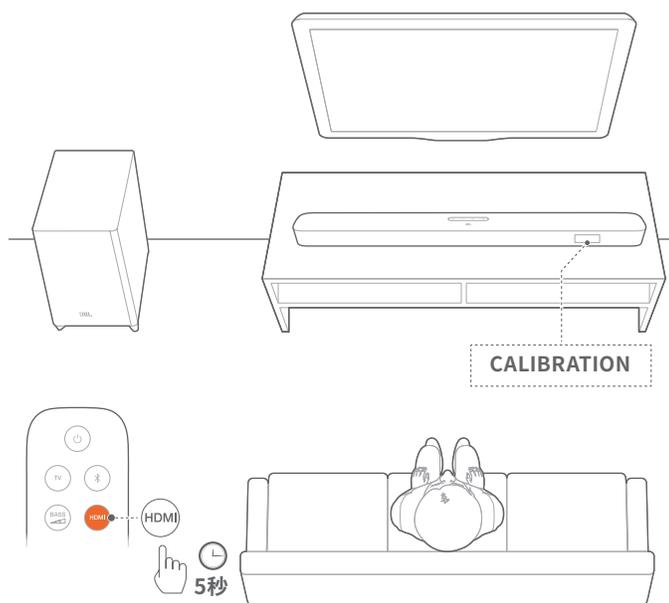
- サウンドバーがHDMI ARCでTVと接続されている場合は、TVの電源が入った時。
- サウンドバーが光デジタル端子ケーブルでTVと接続されている場合は、光デジタル端子ケーブルからのオーディオ信号を検知した時。
- サウンドバーがHDMI ARC接続、HDMI接続を通してTVに接続されていれば、セットトップボックス、DVD/Blu-rayプレーヤー、ゲーム機のようなデジタルデバイスにも接続されます。また、デジタルデバイスの電源が入ると、
- サウンドバーがホームネットワークに接続され、ChromecastまたはAirplayを通してサウンドバーにオーディオがストリーミングされます。

6.2 初期設定

自動マルチビーム測定

自動マルチビーム測定 (AMC) により、サラウンドサウンドをお好みのポジションで、最適な状態で体感できます。

- リモコン上でサウンドバーに「**CALIBRATION**」が表示されるまで**HDMI**ボタンを長押ししてください。
 - 5から1までのカウントダウンが始まります。
 - 大きな音が鳴り、オーディオ調整が開始されます。
 - 「**CALIBRATING**」: 調整が進行中です。
 - 「**DONE**」: 調整が正常に完了しました。

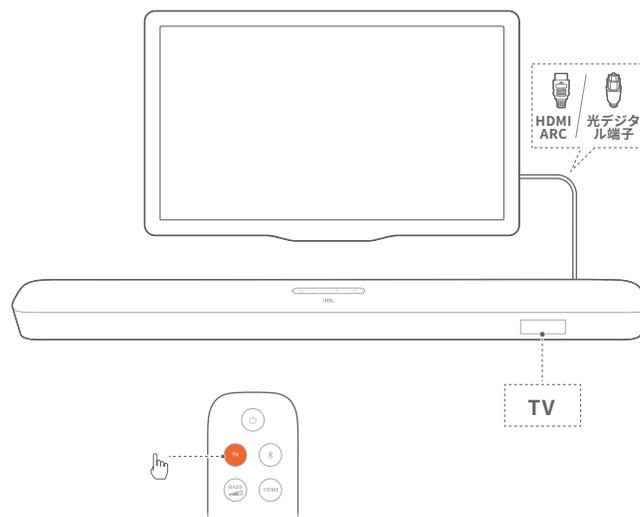


注:

- AMCの間、**⏻**と**HDMI**以外のリモコンのボタンは全て無効になります。
- AMCに失敗すると、「**FAILED**」と表示されます。

6.3 TVソースからの再生

サウンドバーを接続すると、サウンドバースピーカーでTVの音を楽しむことができます。



1. TVが外部スピーカーに対応するように設定されていて、TV内蔵スピーカーがミュート状態になっていることをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください（「接続」の章の「TVへの接続」をお読みください）。
3. TVソースを選択するには、サウンドバーの**Ⓞ**ボタン、またはリモコンの**TV**ボタンを押してください。
 - 「**TV**」: TV入力を選択されました。
 - 工場出荷時の設定では、デフォルトでTV入力を選択されています。

注:

- サウンドバーがHDMIと光デジタル端子の両ケーブルでTVに接続されている場合、HDMIケーブルによる接続が優先されます。

6.3.1 TVリモコンの設定

TVとサウンドバーの両方をTVリモコンで操作するには、TVがHDMI-CECに対応しているかをチェックしてください。TVがHDMI-CECに対応していない場合、「TVリモコンラーニング」の手順に従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVリモコンで、サウンドバー音量の+/-、ミュート/ミュート解除、電源オン/スタンバイ機能を操作できるのです。

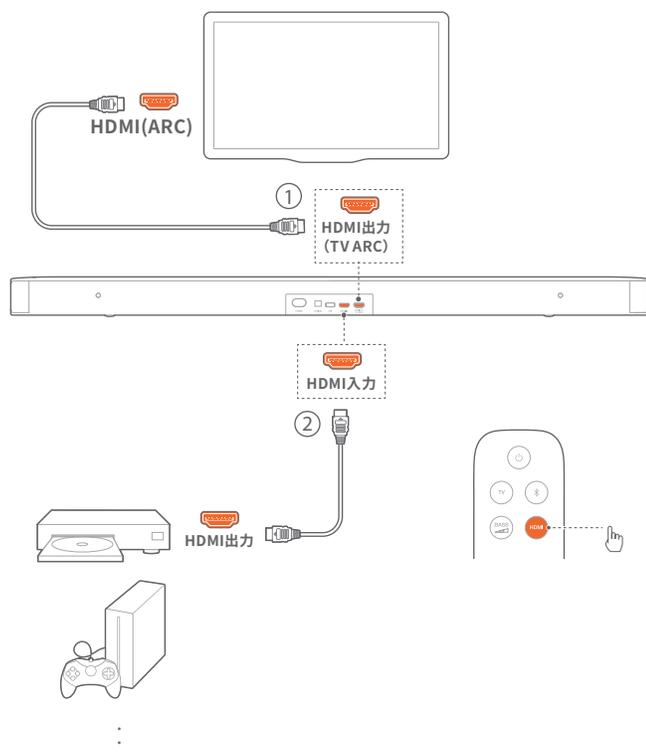
TVリモコンラーニング

1. サウンドバーで、「**LEARNING**」と表示されるまで**Ⓞ**と+を長押ししてください。
 - TVリモコンラーニングモードに入ります。
2. 15秒以内に、サウンドバーとTVリモコンで以下の操作を行ってください:

- a) サウンドバーリモコン:+、-のどちらか一つ、または+および-を同時に(ミュート/ミュート解除機能用)押し、それから0を押してください。
 - b) TVリモコン:お好きなボタンを押してください。
 - 「WAIT」とサウンドバーに表示されます。
 - 「DONE」:TVリモコンボタンがサウンドバーボタンの機能を学習します。
3. ボタンラーニングを完了するには、ステップ2を繰り返してください。
 4. TVリモコンラーニングモードを終了するには、「EXIT LEARNING」と表示されるまでサウンドバーのGと+ボタンを長押ししてください。
 - サウンドバーは最後に選択された入力ソースに戻ります。

6.4 HDMI IN入力からの再生

下図のようにサウンドバーを接続すると、TVとサウンドバースピーカーでデジタルデバイスのビデオとオーディオを再生することができます。



1. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください(「接続」の章の「デジタルデバイスへの接続」をお読みください)。
2. デジタルデバイスの電源を入れてください。
 - TVとサウンドバーがスタンバイモードから復帰し、自動的に入力ソースを切り替えます。
 - サウンドバーでHDMI IN入力を選択するには、サウンドバーのG、またはリモコンのHDMIボタンを押してください。
3. TVがスタンバイモードに切り替わります。
 - サウンドバーとソース機器がスタンバイモードに切り替わります。

注:

- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。

6.5 Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを使って、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーにオーディオをストリーム再生します。

1. サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることをチェックしてください(「接続」の章の「Bluetooth接続」をお読みください)。
2. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーのG、またはリモコンの*ボタンを押してください。
3. Bluetooth対応デバイスでオーディオ再生を開始します。
4. サウンドバーまたはBluetooth対応デバイスの音量を調節します。

6.6 Chromecastを使って再生する

Chromecastを使って、AndroidまたはiOSデバイスからサウンドバーにオーディオをストリーミング再生します。

1. サウンドバー上で、
 - サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることをチェックしてください(「接続」の章の「ホームネットワークに接続」をお読みください)。
2. AndroidまたはiOSデバイス上で、
 - a) AndroidまたはiOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることをチェックしてください。
 - b) Chromecast対応アプリ上で、音楽を再生し、キャストアイコンをタップし、接続されているサウンドバーを選択してください。



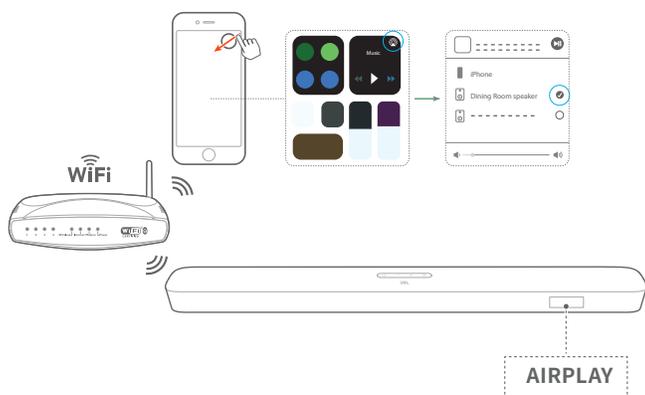
3. 音楽再生を終了するには、他のソースに切り替えてください。

6.7 Airplayを使って再生する

Airplayを使って、iOSデバイスからサウンドバーにオーディオをストリーミング再生します。

1. サウンドバー上で、
 - サウンドバーがホームネットワークに正しく接続されていることをチェックしてください(「接続」の章の「ホームネットワークに接続」をお読みください)。
2. iOSデバイス上で、
 - a) iOSデバイスがサウンドバーと同一のネットワークに接続されていることをチェックしてください。

- b) iOSデバイスのコントロールセンターに入るには、画面右上隅から下にスワイプする (iOS12以降のバージョン) か、下の端から上にスワイプしてください (iOS11以前のバージョン)。🔊をタップして接続されたサウンドバーを選択し、アプリからオーディオストリーミングを開始してください。



3. 音楽再生を終了するには、他のソースに切り替えてください。

注:

- サウンドバーは、オーディオストリーミングには対応していますが、動画のストリーミングには対応していません。
- ChromecastまたはAirplayの使用中、2番目に接続したデバイスで音楽再生を開始すると、現在接続されているデバイスの音楽再生が一時停止します。

7. サウンドの設定

低音の調整

1. サウンドバーとサブウーファーが正しく接続されていることをチェックしてください(「設置」の章をお読みください)。
2. リモコンで、**BASS**を繰り返して押し、低音レベルを切り替えてください。
→ 「HIGH」、「LOW」および「MID」(デフォルト)が表示されます。

オーディオシンク

ビデオコンテンツの映像と音声にズレを感じる場合は、オーディオシンク機能により調整ができます。

1. リモコンで、**TV**ボタンを3秒以上長押ししてください。
2. 5秒以内に、リモコンの+または-ボタンを押して音声の遅延を調節し、ビデオに合わせます。
→ オーディオシンクのタイミングが表示されます。

スマートモード

本機は音響効果により深みのある音声でTV番組を楽しめる、スマートモードに設定されています。ニュースや天気予報といった音響効果が必要としない番組では、スタンダードモードに切り替えて音響効果を低減し、より音声が聞き取りやすく変更することもできます。

スマートモード:音響効果に深みを持たせるため、EQ設定とJBL Surround Soundを使用します。

スタンダードモード:スタンダード音響効果には、プリセットEQ設定を使用します。

スマートモードを無効にするには、以下の手順に従ってください:

1. リモコンで、🔊ボタンを3秒以上長押ししてください。+ボタンを押します。
→ 現在のモードが表示されます。「ON SMART MODE」:スマートモードが有効になります。
2. ステップ1を繰り返してください。
→ 別のモードに切り替えます。「OFF SMART MODE」:スタンダードモードが有効になります。
→ 次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、スマートモードは再度、自動的に有効になります。

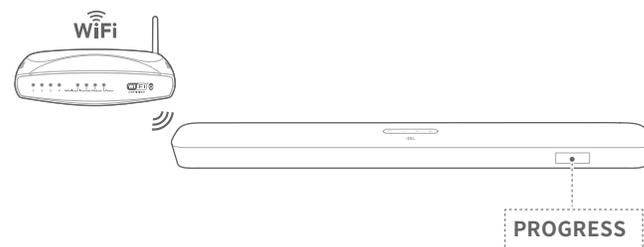
8. 工場出荷時の設定への復元

工場出荷時のデフォルト設定に復元することにより、サウンドバーの個人的な設定は全て削除されます。

- サウンドバーで、**○**と**Ⓞ**ボタンを10秒以上押し続けてください。
 - 「RESET」と表示されます。
 - サウンドバーに「LOAD」と「READY」と表示され、それからスタンバイモードに移行します。

9. ソフトウェアのアップデート

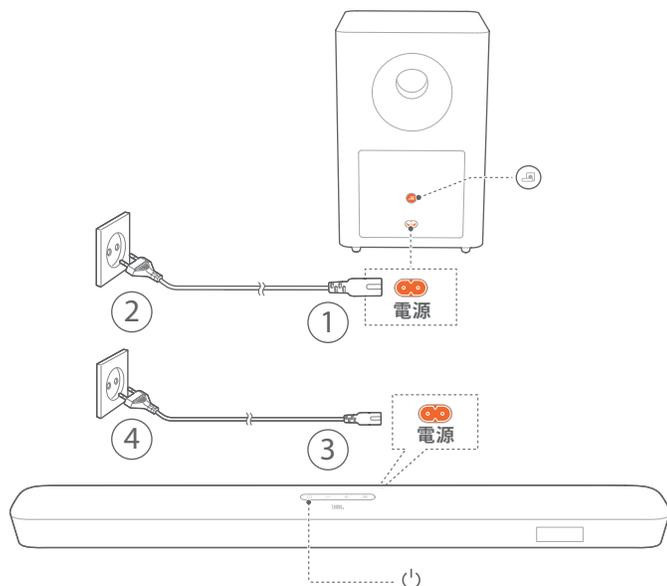
製品のパフォーマンスを最大限に引き出し、ご体感いただくために、JBLはサウンドバー用のソフトウェア・アップデートを提供することがあります。サウンドバーをホームネットワークに接続してください。ソフトウェアのアップデートが可能な場合、オンラインのアップデートは自動で行われます。



アップデート中、「PROGRESS」および何%進行したかが表示されます。完了すると、サウンドバーに「LOAD」と「READY」が表示され、それからスタンバイモードに移行します。

10. サブウーファーの再接続

サウンドバーとサブウーファーは、工場出荷時にはペアリングされています。電源を入れると、自動的にペアリングを開始し接続されます。再度ペアリング作業をしなければならないケースもあります。



サブウーファーペアリングモードに再接続するには

1. サブウーファーの背面パネル上で、が素早く白で点滅するようになるまで長押ししてください。
2. サウンドバー上でサブウーファーペアリングモードに入るには、リモコンの **BASS** ボタンを5秒以上長押ししてください。リモコンの **BASS** ボタンを押してください。
 - 「PAIRING」: サブウーファーはペアリングの準備ができています。
 - 「CONNECTED」: サブウーファーが接続されています。

注:

- ペアリングと接続が完了しない場合、サブウーファーのペアリングモードは3分で解除されます。が白で素早く点滅から、白でゆっくり点滅に変わります。

11. 製品の仕様

一般仕様:

- 型: Bar 5.1 CNTR (サウンドバーユニット)、Bar 5.1 SUB (サブウーファーユニット)
- 電源: 100~240V AC、50/60 Hz
- 総合出力(最大@THD 1%) 550 W
- サウンドバーの出力電力(最大@THD 1%) 5 x 50 W
- サウンドバーの出力 (最大@THD 1%) 300 W
- サウンドバーのドライバー: 楕円形ドライバー 5+3 cm サイドファイアリングツイーターx2
- サブウーファーのドライバー: 25 cm
- ネットワーク接続した状態でのスタンバイ時消費電力: 2.0 W 未満
- 動作保証温度: 0 °C~45 °C

HDMIの仕様:

- HDMIビデオ入力: 1
- HDMIビデオ出力 (オーディオ・リターン・チャンネル付き): 1
- HDMI HDCPバージョン: 2.3

オーディオの仕様:

- 周波数特性: 34Hz~20KHz
- オーディオ入力: 光デジタル端子 1、Bluetooth、USB (米国バージョンではUSB MP3再生が可能です。その他のバージョンでは、USBは電力供給用のみです。ハードディスクドライブには対応していません。)

USB仕様 (オーディオ再生は米国バージョン用のみです):

- USBポート: タイプA
- USB定格: 5 V DC/0.5 A
- 対応しているファイルフォーマット: mp3
- MP3コーデック: MPEG 1 Layer 2/3、MPEG 2 Layer 3、MPEG 2.5 Layer 3
- MP3サンプリング・レート: 16~48 KHz
- MP3ビットレート: 80~320 kbps

ワイヤレス仕様:

- Bluetoothバージョン: 4.2
- Bluetoothプロファイル: A2DP V1.2、AVRCP V1.5
- Bluetooth周波数帯域: 2402 MHz~2480 MHz
- Bluetooth最大送信電力: 11 dBm 未満 (EIRP)
- 変調タイプ: GFSK、 $\pi/4$ DQPSK、8DPSK
- Wi-Fiネットワーク: IEEE 802.11 a/b/g/n/ac (2.4 GHz/5 GHz)
- 2.4G Wi-Fi周波数帯域: 2412~2472 MHz (2.4 GHz ISMバンド、USA 11チャンネル、ヨーロッパとその他の地域 13チャンネル)
- 2.4G Wi-Fi最大送信電力: 20 dBm 未満
- 変調タイプ: DBPSK、DQPSK、CCK、QPSK、BPSK、16QAM、64QAM

- 5G Wi-Fi周波数帯域: 5.15~5.35 GHz、5.725~5.825 GHz
- 5G Wi-Fi最大送信電力: 22 dBm未満
- 変調タイプ: QPSK、BPSK、16QAM、64QAM、256QAM
- 5Gワイヤレス周波数帯域: 5736.35~5820.35 MHz
- 5G最大送信電力: 9 dBm未満 (EIRP)
- 変調タイプ: $\pi/4$ DQPSK

寸法

- 寸法(幅x高さx奥行): 1018 x 58 x 100 mm (サウンドバー); 305 x 440 x 305 mm (サブウーファー)
- 重量: 2.9 KG (サウンドバー); 10.7 Kg (サブウーファー)

12. トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。この製品を使用していて問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点をチェックしてください。

システム

サウンドバーの電源が入っていません。

- 電源コードが電源とサウンドバーに差し込まれているかどうかチェックしてください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しません。

- サウンドバーを工場出荷時の設定に復元します(「工場出荷時の設定への復元」の章をお読みください)。

サウンド

サウンドバーから音が出ません。

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- サウンドバーのリモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他のデバイスに正しく接続してください。
- サウンドバーを工場出荷時の設定に復元するには、サウンドバーの○とGボタンを10秒以上長押ししてください。

音が歪んでいるまたはエコーが発生する

- TV音声をサウンドバーで再生している場合は、TV内蔵スピーカーが有効になっており同時に出力していないかをご確認ください。

オーディオとビデオが同期していません。

- オーディオシンク機能を利用して音声とビデオの同期を調整してください(「サウンド設定」の章の「オーディオシンク」をお読みください)。

Bluetooth

サウンドバーにデバイスが接続できません。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうかをチェックしてください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアリングされている場合は、Bluetoothをリセットしてください(「接続」の章の「Bluetooth接続」にある「別のデバイスに接続するには」をご覧ください)。
- Bluetooth対応デバイスがサウンドバーとペアリングされている場合、デバイスのBluetooth設定からサウンドバーとの接続を一度解除し、再度デバイスとサウンドバーをペアリングしてください(「接続」の章の「Bluetooth接続」にある「別のデバイスに接続するには」をお読みください)。

Bluetooth対応デバイスからのオーディオ品質が良くない。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応デバイスとの接続が不安定。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Wi-Fi

Wi-Fiへの接続に失敗しました。

- Wi-Fiの電源が入っていることをご確認ください。
- ネットワークの選択とパスワードの入力に間違いがないことをご確認ください。
- ルーターまたはモデムの電源が入っていて、有効範囲内にあることをご確認ください。
- サウンドバーがスマートホンまたはタブレットと同一のワイヤレスLANに接続されていることをご確認ください。

Google Homeアプリでデバイスが見つかりません。

- サウンドバーの電源が入っていることをご確認ください。
- ネットワークが正しく機能していることをご確認ください。
- ルーターまたはモデムの電源が入っていて、有効範囲内にあることをご確認ください。

リモコン

リモコンが作動しません。

- 電池の寿命が来ているかどうかをチェックしてください。寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとメインユニットとの距離を縮めたり、角度を変えてみてください。

13. 商標



The Bluetooth®のワードマークとロゴは、the Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社 (HARMAN International Industries, Incorporated) による使用は、使用許諾に基づくものです。他の商標および商標名は各所有者に属します。



HDMIという用語、HDMI高解像度マルチメディア・インターフェースおよびHDMIロゴはHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。



Wi-Fi CERTIFIED™ロゴはWi-Fi Alliance®の認証マークです。



Dolby Laboratoriesのライセンスの下で製造されます。Dolby、Dolby Audio、Dolby Visionおよびdouble-D symbolはDolby Laboratoriesの商標です。



内蔵Chromecast(クロームキャスト)ロゴはGoogle LLC.の商標です。



Apple®、AirPlay®、iPad®、iPad Air®、iPad Pro®、iPhone®はApple Inc.の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

Works with Appleバッジを使用するのは特に、アクセサリがバッジで特定されるテクノロジーで作動するように設計されており、開発者によってAppleの性能基準に適合するように認証されていることを意味しています。

このAirPlay 2対応スピーカーを操作するには、iOS 11.4以降のバージョンが必要です。

14. オープンソースのライセンスに関する 注意

本製品はGPLの許可を得たオープンソースソフトウェアを内蔵しています。参考までに、ソースコードと関連する構築指示は<http://www.jbl.com/opensource.html>でも入手可能です。以下までお気軽にお問い合わせください:

Harman Deutschland Gmb

HATT: オープンソース、Gregor Krapf-Gunther、Parkring 3

85748 ガルヒンク・バイ・ミュンヘン、ドイツ

または、製品のオープンソース・ソフトウェアに関する追加の質問がございましたら、OpenSourceSupport@Harman.comまで。



ハーマン・インターナショナル・イン
ダストリーズ株式会社 (HARMAN
International Industries,
Incorporated) 8500 パルボア・ブー
ルバード、ノースリッジ、カリフォルニ
ア91329 米国
www.jbl.com

© 2019 HARMAN International Industries, Incorporated(ハーマン・インターナショナル・
インダストリーズ株式会社)。

無断複写・転載を禁じます。

JBLは、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ 株式会社(HARMAN International
Industries, Incorporated)の、米国および/またはその他の国々の登録商標です。特徴、仕様
および外観は、予告なしに変更されることがあります。